

施工される人への危害を未然に防止するためと、ご使用になる人や他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、この説明書をよくお読みください。

【マークの見方】

- △ この表示は「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害、損害の程度」です。
- ⊘ この表示は「してはいけない禁止」内容です。
- ❗ この表示は「必ず実施していただく」指示内容です。

【お得意様へのお願い】

弊社では、お施主様が製品を安全に正しくご使用いただくためのお願い事項や、お手入れ方法などの重要な内容を、この施工説明書に記載しております。施工後は必ずお施主様に手渡ししていただきますようお願いいたします。

■ ご使用上のご注意

- △ 暖房器具などから発生する熱風・熱気が直接当たらないようにしてください。扉の反り、変色などの原因になります。
- ⊘ 扉に粘着テープでポスターなどを貼らないでください。表面が傷む恐れがあります。
- ⊘ 製品に水、油、殺虫剤などが付着しないようにしてください。材質の特性により表面がふくれたり、染み、変色などが発生する恐れがあります。
- △ 扉の開閉にあたっては、必ず引き手を持って操作してください。引き手から手を離したり、扉の先端に手を置くと、扉が急に閉まったとき、扉と枠の間で指を挟み、思わぬケガをする恐れがあります。特にお子様にはご注意ください。
- ⊘ 安全のため、破損・変形した扉は、使用しないでください。

■ 施工上のご注意

- ❗ 造作材・建具枠の下地材には、必ず乾燥材（含水率 19%以下）を使用し、湿潤材（グリーン材）は使用しないでください。壁内の通気が悪く、内部結露が発生する恐れがある場合は、防水処理をしてください。
- ⊘ 枠の組み立て後、ねじれ・引っ張りなど無理な力を加えないでください。破損する原因になります。
- △ 造作材・建具枠と柱・間柱・まぐさとの間には必ず隙間を作り、かい木を入れてください。かい木には、合板などの乾燥材を使用し、湿潤材は使用しないでください。造作材・建具枠をコンクリートやモルタル（床面）に直付けしないでください。やむを得ず直付けする場合は、造作材・建具枠木口と床面の間に必ず防水処理をしてください。
- ⊘ 養生シートをかぶせる場合は、粘着テープなどを化粧面に貼らないでください。剥がす際に表面が破損する恐れがあります。
- ⊘ 発熱燈付近には取り付けしないでください。熱により、部品が変形する恐れがあります。

■ 点検・お手入れについて

1. 日常のお手入れは乾いた柔らかい布または化学雑巾で空拭きしてください。ひどい汚れまたは落ちにくい汚れは中性洗剤を薄めて固く絞った雑巾で拭き取ってください。汚れがひどい場合でも、酸性・アルカリ性の洗剤、溶剤（シンナー・ベンジン）などは絶対に使用しないでください。
2. 虫害を発見された場合は、直ちに殺虫や防虫処理をしてください。外部から入ったことも考えられますので、放置すると虫害が拡大する恐れがあります。
3. 建付け調整は必ず手回しドライバーを使用してください。電動ドライバーを使用した場合は、ネジ頭が壊れる恐れがあります。
4. 使用中に異常を感じられたり不具合が生じたときは、取り付け部分などの状況を確認してください。ご自身で対処できない場合には、施工業者様にご連絡またはご相談してください。

はじめに

荷物が到着しましたら、直ちにキズの有無を確認してください。運送中に発生したキズなどがございましたら、運送業者から事故証明をとり、商品に添えて仕入先へお申し出ください。製造上の問題があれば、施工前に仕入先へお申し出ください。《施工後は当社では責任を負いかねます。》



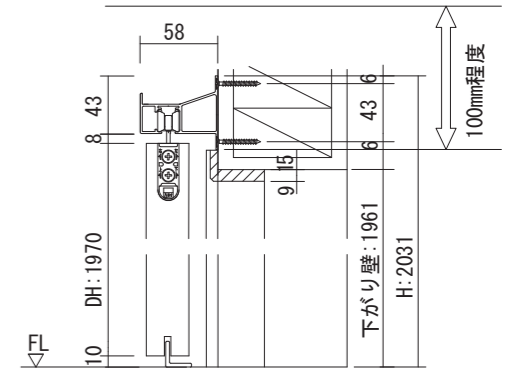
■ 部品表 (組み立て前に必ずご確認ください。)

レール同梱部材 ※以下は両側ソフトクローズ仕様の場合。両側ストッパー仕様の場合は（ ）内の数量となります。							
アウトセットレール (*) x 1	レール取り付けビス (3.7×55) x 8	エンドカバー (ビス付) 左右×各1	ソフトクローズ x 1 (0)	トリガー (ビス・取り付け治具付) x 2 (0)	上部ローラー x 1 (2)	キャッチ付きストッパー (ビス付) x 0 (2)	振れ止め金具 (ビス付) x 1
ゴムストッパー (ビス付) x 2	施工説明書 x 1	※アウトセットレールに使用しない穴が空いていることもありますので、この施工説明書をよく読み、施工してください。 ※製品寸法によってはビスが余る場合もございます。					
別梱包 (扉) 扉 x 1	別梱包 (V0-S口) 開口見切り (縦) 2100mm (V0-45T口) x 2 開口見切り (横) 1000mm (V0-24Y口) x 1	別梱包 (OSJ-W) アウトセット 鎌錠受け x 1	別梱包 (PIRT~) 入隅用縦枠 x 1 開口見切り (縦) 2100mm (V0-45T口) x 1 開口見切り (横) 1000mm (V0-24Y口) x 1	ビス隠しキャップ x 4	枠固定用ビス (3.8×51) x 4		

■ 施工前の確認

- この商品は「アウトセット片引き戸」を用途とする製品です。他の用途として使用したり、施工説明書と異なった施工をした場合のクレームは当社では負いかねます。
- 施工時に電動ドライバーを使用する場合は、ネジ頭の破損を防ぐためトルクの調整をしてください。
- 部材を保管する場合は、湿気・直射日光を避け十分な養生をしてください。
- 開口部の寸法を測り、枠が正確に施工されているか、ご用意のサイズが適切かご確認願います。

❗ 開口部の上部（鴨居から天井まで）は、100mm程度の作業スペースを設けてください。（右図参照）

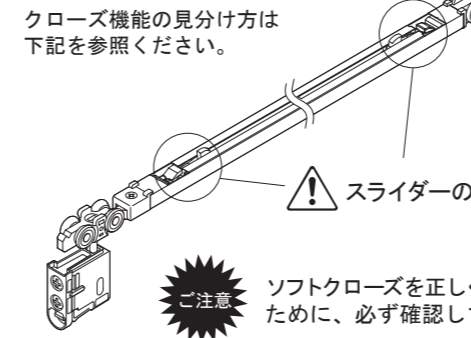


■ 施工手順

1 ソフトクローズの自動復帰

スライダーが図の位置になっているか確認します。なっていない場合は、押し戻しておきます。

※両側ストッパー仕様の場合は不要。

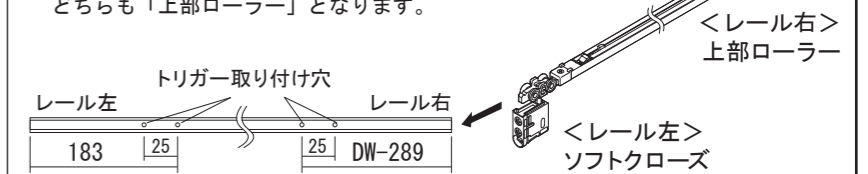


2 ソフトクローズの取り付け

トリガー取り付け穴の位置を確認し、下図の示す方向で挿入します。

※ソフトクローズの作動距離はどちらも約 50mm。

※両側ストッパー仕様の場合は、どちらも「上部ローラー」となります。

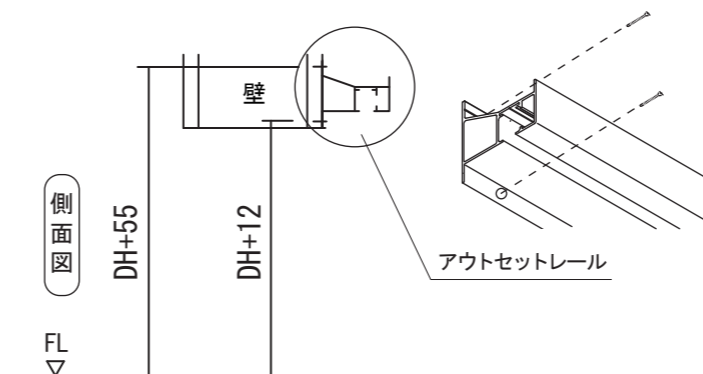


❗ ソフトクローズを正しく作動させるために、ソフトクローズの向きにご注意ください。ソフトクローズの向きは、右引・左引共通です。

3 アウトセットレールの取り付け

● アウトセットレールのみの場合

付属のビスにて壁に固定してください。



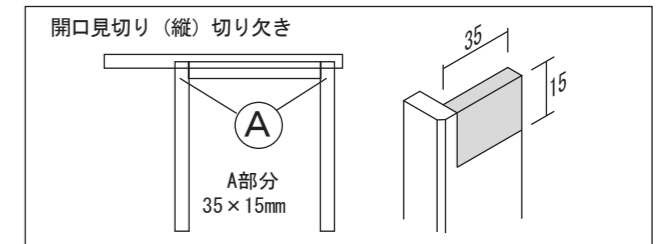
❗ レールは十分に強度のある下地材に固定してください。レール取り付け後、レール内のゴミを完全に拭き取ってください。走行不良の原因になります。

● アウトセットレール + 見切りセットの場合 (オプション)

※開口見切り (縦・横) はラフカットのため、現場にて必要なサイズにカットしてください。

※開口見切り (縦) は、現場にて下図のように切り欠いてください。

※開口見切りの取り付けは、木工用ボンド・針釘等を使用してください。（現場調達）



両側ソフトクローズ仕様・両側ストッパー仕様の見分け方

(レール品番) P1R AS サイズ 色

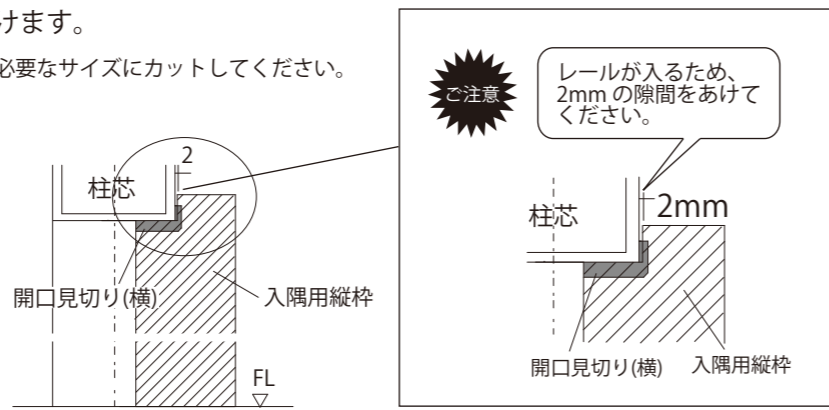
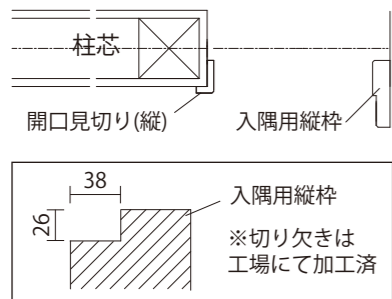
<クローズ機能>  
N: 両側ソフトクローズ仕様  
L: 両側ストッパー仕様 (ソフトクローズなし)

### 3 アウトセットレールの取り付け (つづき)

#### ● アウトセットレール + 入隅用縦枠ありの場合

(1) 縦枠・開口枠見切り (縦・横) を取り付けます。

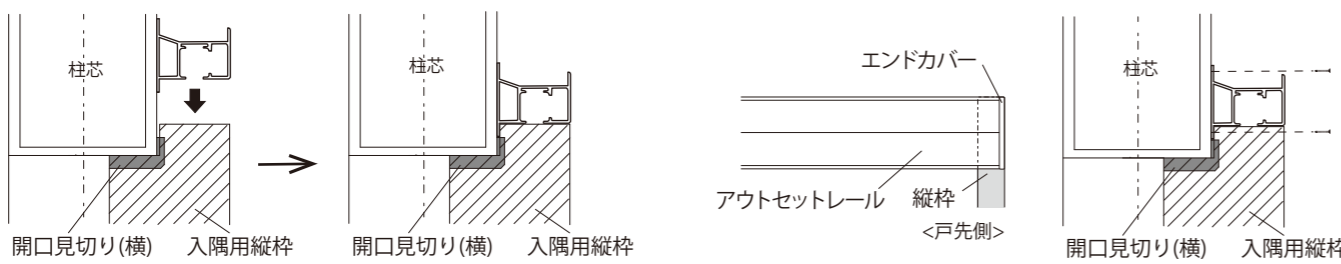
開口見切り (縦・横) はラフカットのため、現場にて必要なサイズにカットしてください。



(2) アウトセットレールの取り付け

レールの戸先側にエンドカバーを取り付け、縦枠と壁の隙間に差し込みます。

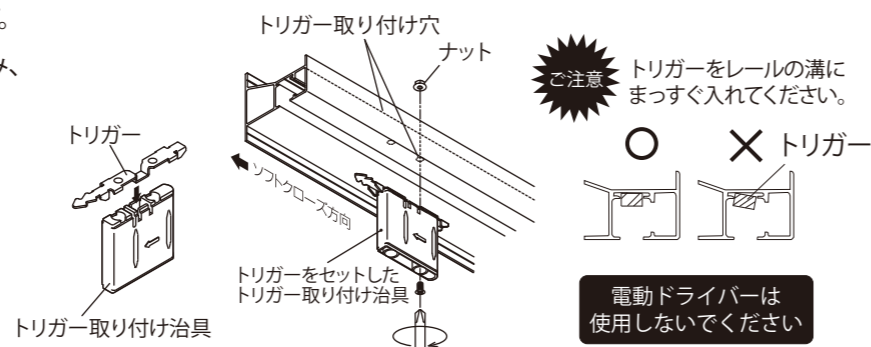
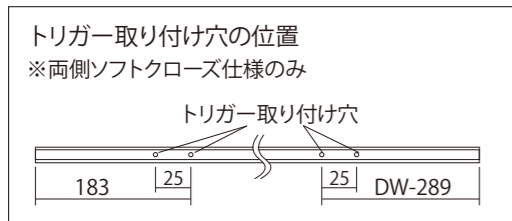
縦枠の端とカバーの面が揃うように、レールを固定します。



### 4 トリガーの取り付け

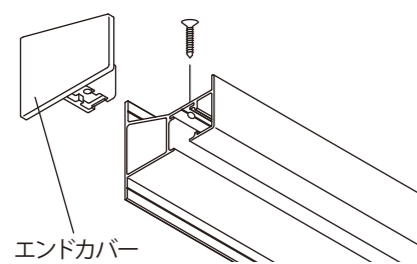
(1) トリガーをトリガー取り付け治具にセットします。

(2) 治具を図の示す方向でレール内部に押し込み、付属のねじでトリガーを取り付けます。



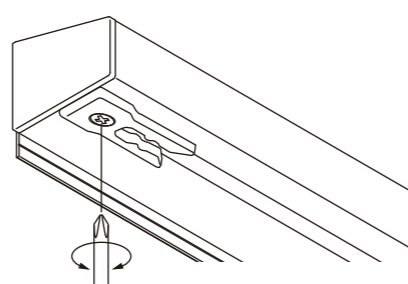
### 5 エンドカバーの取り付け

アウトセットレールの左右木口に付属のビスでエンドカバーを取り付けます。



### 6 キャッチ付きストッパーの取り付け

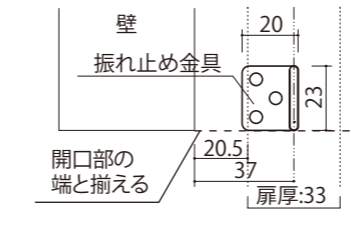
両側ストッパー仕様の場合のみ、エンドカバーに接する位置に固定します。



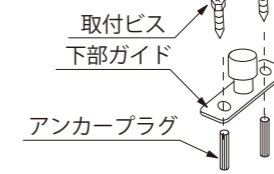
### 7 振れ止め金具の取り付け

振れ止め金具を下図の位置に取り付けてください。 ※垂直に戸が吊り込めるよう、取り付け位置に注意してください。

<平面図>

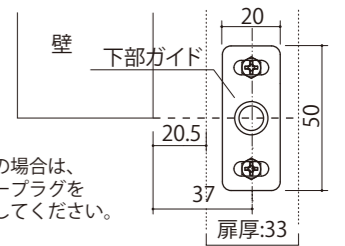


MO・MMデザインの扉は、扉下部の仕様が異なるため、金具が異なります。扉に同梱されている専用部材をご使用ください。



床下地がコンクリートの場合は、取り付けビスとアンカープラグを併用して、確実に施工してください。

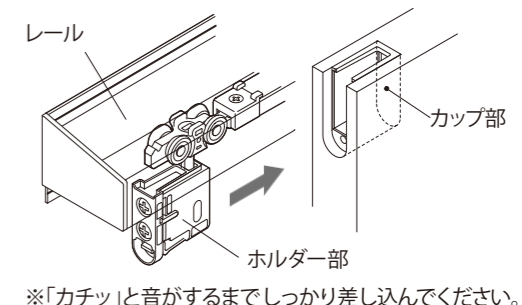
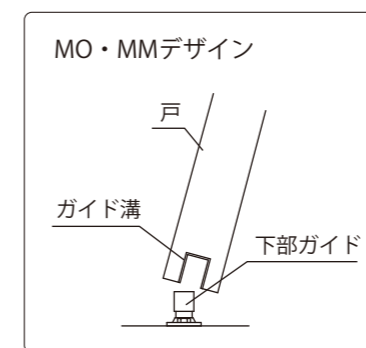
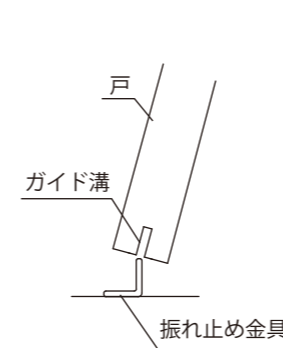
<平面図>



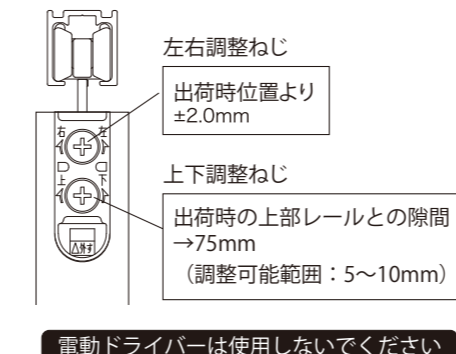
### 8 戸の吊り込み

(1) 振れ止め金具に戸のガイド溝を差し込みます。

(2) 戸のカップ部にホルダー部を差し込み、抜けないことを確認します。

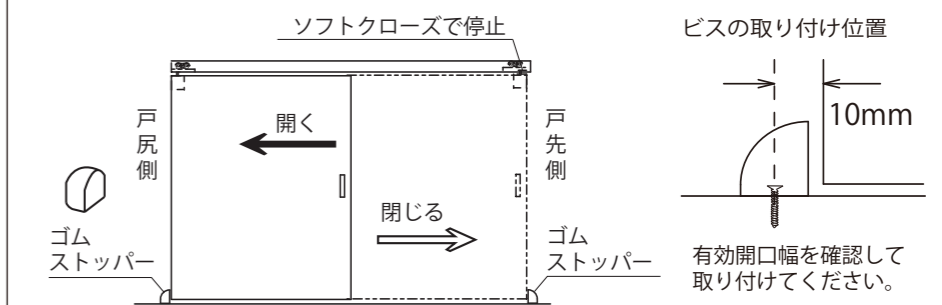


### 9 戸の調整



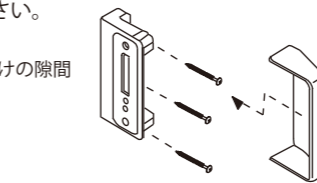
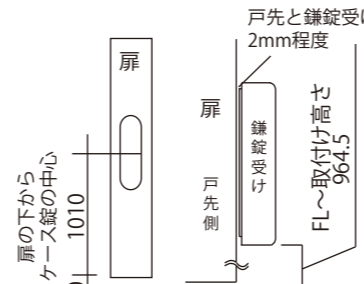
### 10 ゴムストッパーの取り付け

扉を開いた状態、閉じた状態の位置に、付属のビスでゴムストッパーを取り付けます。(入隅用縦枠ありの場合は戸尻側のみ取り付けしてください。)



### 11 鎌錠受けの取り付け (オプション)

下図に従い、付属のネジで取り付けます。 ※下地材があることを確認してください。

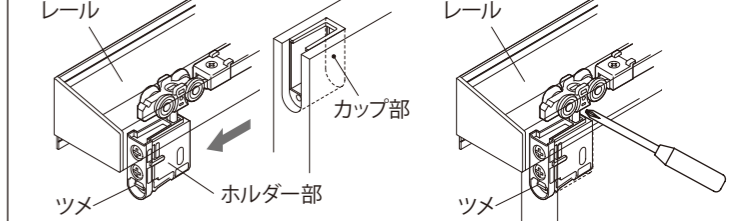


扉を閉めた際に扉がストッパーに当たることを確認してください。

・左右兼用です。  
・フロントプレートの向きを変えることで左右を変更できます。

### 12 上部ローラーの外し方

ツメを上を上げながら引き抜いてください。扉を少し持ち上げながら行うとスムーズです。

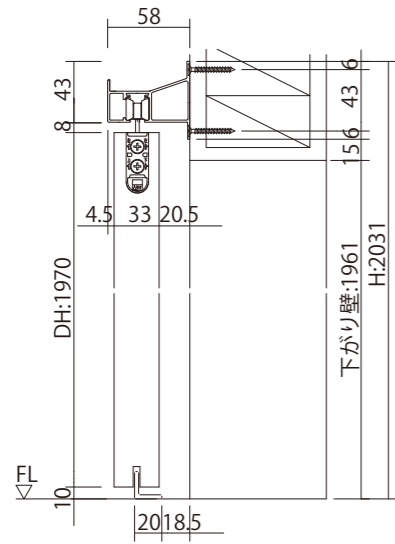


※抜けない場合は、ドライバーなどでローラーを押し上げてください。

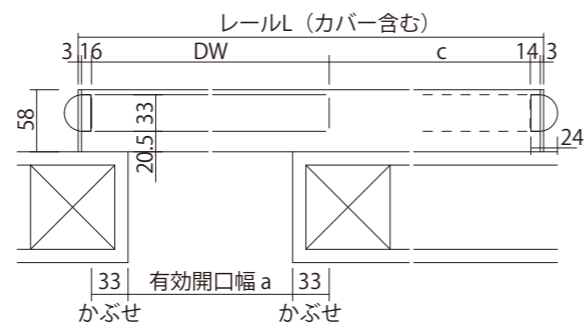
## 寸法図 (出隅)

### 【アウトセットレールのみ】

縦断面図



横断面図

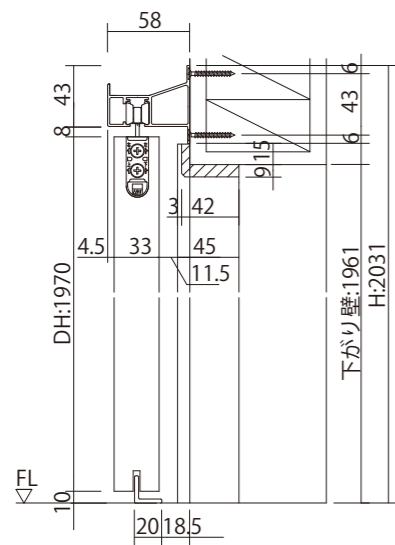


[寸法表]

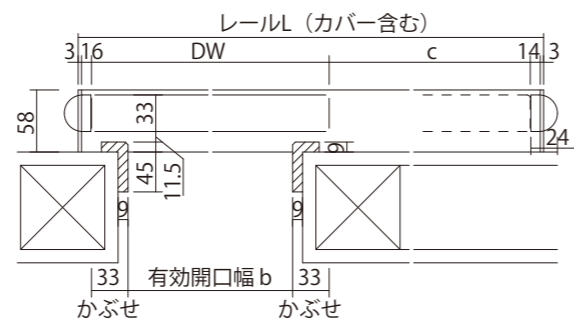
DW	レールL	有効開口幅 a	c
592	1187	526	559
712	1427	646	679
812	1627	746	779

### 【アウトセットレール+見切りセット】

縦断面図



横断面図

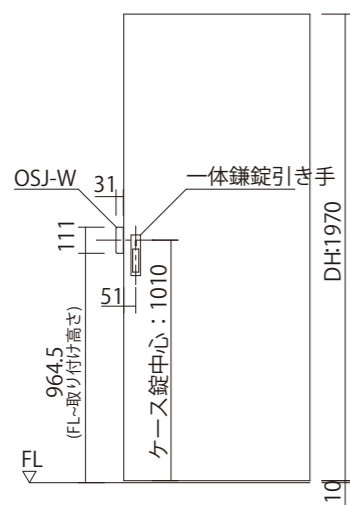


[寸法表]

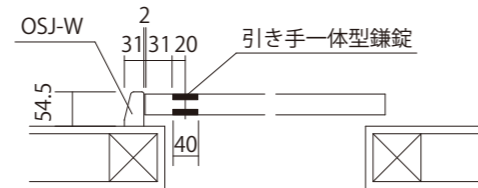
DW	レールL	有効開口幅 b	c
592	1187	526	559
712	1427	646	679
812	1627	746	779

### 【アウトセット用鎌錠受け (OSJ-W)】

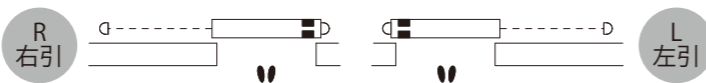
正面図



横断面図



※ 引き手一体型鎌錠はバックセット51mm。  
鎌錠の幅は40mmとなります。  
戸先側のかぶせは31mm以内を推奨。

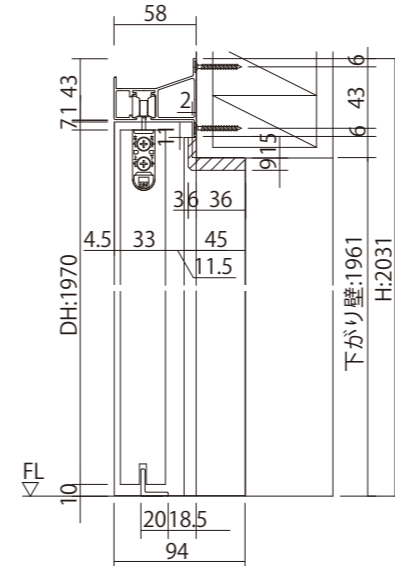


(単位: mm)

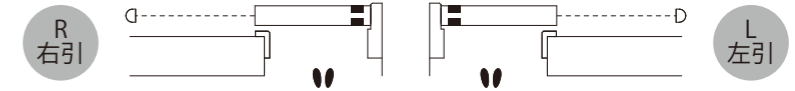
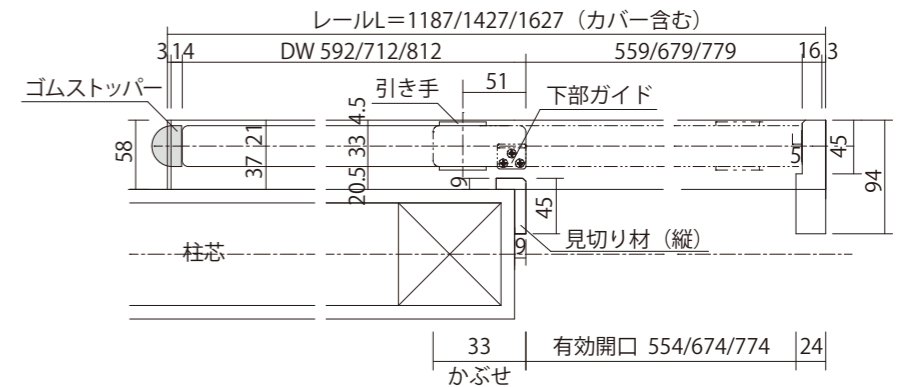
## 寸法図 (入隅)

### 【アウトセットレール+入隅用縦枠仕様】

縦断面図



横断面図



(単位: mm)